

三島中だより 12月号

夢を育み、笑顔に会える、愛いっぱい学校 茨木市立三島中学校

三島中学校かめざす生徒像

自律・愛・創造

〔主観と客観 1〕主観と客観のちがいにについて、人それぞれの受け止め方、感じ方、基準などがちがうものを主観という。一方で誰にとっても同じ、自分が見ても自分以外の人が見ても納得できるものを客観という。簡単に言え事実。

〔主観と客観 2〕主観と客観を利用すると物語や小説の読解が役に立つ。物語には、情景描写と心理描写がある。事実を説明している箇所が情景描写。登場人物の気持ちを描いているのが心理描写。ほとんどの場合、情景描写は客観、心理描写は主観である。この2つをまちわり分ける。これができる場合が、台詞。台詞は、本来起った出来事を書いているから情景描写。しかし、いくつかの台詞は、登場人物の思いが口を通して表に出ているから、どちらの性格も持ち合わせている。又、イメージが情景描写にも注意が必要である。

〔主観と客観 3〕情景描写と心理描写を見分ける一番早い方法は、まず、心理描写を見つけたら、心理描写を除けば、ほぼ情景描写と言え、心理描写をみつけたら、主語と述語に着目すればよい。〔主観と客観 4〕筆者あるいは登場人物の主観が表に出ているか、言葉に気がつく。筆者や作者が書いた文章は、主張したいことが書いてあるから、主観的である。か、その解釈は、客観的に行われなければならない。ここ、こう書いてあるから、筆者は、こう思っている。

〔主観と客観 5〕相手が何を言っているかを正しく読み取る。相手の言い分が正しいかどうかを判断するのは、そのあとがきになる。以上、上記の主張には、高岡の主観が入っている。

学びを続けること

授業とは、『学問・技術などを教え授けること』です。生徒の皆さんは、これを受けることになります。皆さんが今、持っている知識から、新しい知識を構築（基礎の構えから始めて全体を築くこと）すること、共通の時間、空間(教室等)で取り組んでいます。新しく得られた知識を使うこと(自学自習)や誰かに伝えること、説明することによって、より確実に正しい知識理解になります。様々な知識は、生きていく上での自己実現をより正確に可能にしてくれます。これらの知識は、学ぼうと行動し続ける限り、得ることができます。ともに学びを続けていこう！

